

新型コロナウイルス感染症に係る保健所・保健センターの対応について

1. 保健所

(1) 新型コロナ受診相談（帰国者・接触者電話相談センター）

① 相談受付件数

	2020/2/7～ 2022/4/3	4/4 (月)	4/5 (火)	4/6 (水)	4/7 (木)	4/8 (金)	4/9 (土)	4/10 (日)	累計
品川区電話 相談窓口	25,920	71	64	60	53	43			26,211
東京都発熱 相談センター※1)	943,825 ※10/30～	2,992	2,876	2,915	2,740	2,626	3,804	4,301	966,079
東京都 COCOA 専用ダイヤル※2)	30,724 ※10/30～	249	228	202	241	170	150	163	32,127

※1) 「東京都発熱相談センター」（令和2年10月30日開設、24時間、土日祝日を含む毎日）

発熱等の症状を呈した方で、かかりつけ医がいなくて受診先に困っている場合等の相談に対応。

※2) 「東京都 COCOA 専用ダイヤル」（令和2年10月30日開始）

接触確認アプリ「COCOA」により、濃厚接触の可能性のある旨通知があった方からの相談に対応。

② 品川区電話相談窓口の主な相談内容

有症状や患者との接触に関連した受診や検査に関する相談の他、自宅療養証明書についての相談が多くを占めている。

(2) 患者対応

区内患者数 42,588人（令和4年4月10日現在）

感染急拡大に伴う診断方法の変更（1/28 都通知、3/18 一部改正）に基づき、上記区内患者数には、下記の診断方法に基づく患者が含まれている。

- ▶ 抗原定性検査キット等で自主検査した場合、医師の判断で受診時に再度の検査を行うことなく、本人が提示する自主検査結果を以って確定診断として良い。
- ▶ 診療の際、電話診療、オンライン診療等の遠隔診療を活用することが可能。

※検査を行わない臨床診断による届出（特例疑似症）は、3月末日にて原則廃止となった。

- ① 入院・宿泊療養調整（都で一元的に実施）、移送、移送手配、積極的疫学調査
- ② 自宅療養者への健康観察、食料やパルスオキシメーターの配送等
体調悪化時のオンライン診療や往診の調整、入院調整

2月1日より、第6波の急激な感染拡大に伴う、自宅療養者の急増に対応するため、全ての患者に保健所からSMSや架電等で連絡するとともに、軽症で50歳以上または基礎疾患のある方は、都の自宅療養者フォローアップセンターが、また、50歳未満で基礎疾患の無い方は、都の自宅療養サポートセンター（うちさぽ東京）が役割分担しつつ自宅療養者の療養を支援している。

保健所が直接健康観察する対象は、診断した医師等により健康観察されている患者以外で、入院待機者や有症状者となっている。

③ 医療費の公費助成

(3) まん延防止対応

- ① 患者の積極的疫学調査：感染源及び濃厚接触者（同居家族、高齢者施設、保育所など）の特定
- ② 陽性者が判明した施設における濃厚接触者への出張PCR検査の実施
- ③ 他自治体との連携による調査、対応
- ④ 検疫所からの依頼による海外からの帰国者への健康監視等

(4) 品川区PCR検査センター（令和2年5月12日開設：医師会委託）

自院でPCR検査等を実施していない「かかりつけ医」が患者のPCR検査が必要と判断した場合、区PCR検査センターを紹介し、センターでPCR検査を実施する。

令和3年10月15日以降、検査対象者の減少、及び、区内検査実施医療機関の増加に伴い、区役所庁舎に設けた検査会場は休止としていたが、感染急拡大に対応するため、令和4年2月1日より区役所庁舎における検査を再開した。その後、一定程度の地域での検査体制が確保できる状況となったため、再度、令和4年3月31日から休止としている。なお、必要に応じクラスター発生施設等への出張検査に対応可能な体制は継続している。

2. 保健センターの対応状況

(1) 乳幼児健診・母子保健事業等

感染予防対策を講じ対象人数を減らす等、実施方法を変更して実施中。

両親学級は感染予防のため父親学級として実施。なお、乳児健診については、区内の医療機関でも受診が可能。

(2) 精神保健のデイケア等事業および難病療養支援教室等

感染予防対策を講じ実施方法を変更して実施中。

(3) その他

新型コロナウイルス感染症への不安等に対する電話相談や来所者への個別対応